

サプライチェーンにおける取り組み

ステークホルダーの声にお応えして公正な企業活動を推進していくためには、お取引先の協力が不可欠です。OKIはお取引先との信頼関係構築に努めるとともに、CSR調達の取り組みを推進しています。

CSR調達の推進

OKIは、「OKIグループ資材調達方針」において「公明正大で差別のない取引先選定」「CSRに配慮した調達活動」「適正な品質・コストの追求と資材の安定調達」を調達活動の基本的な考え方として示すとともに、「OKIグループ サプライチェーンCSR推進ガイドブック*」に基づき、国内外でCSR調達調査を実施しています。

国内については、これまでの調査結果に基づいて対象となるお取引先をグルーピングし、取り組みの進捗を定期的に確認しています。また、2018年度は、これまで調査を実施していなかった海外のサプライヤー6社について、セルフアセスメント調査票による調査を実施しました。調査結果は各社にフィードバックし、必要な是正などをお願いしています。

※社団法人電子情報技術産業協会 (JEITA)「サプライチェーンCSR推進ガイドブック」に準拠

OKIグループ資材調達方針

<お取引先へのお願い>項目

1. 法令・社会規範の遵守
 - 資材の製造・販売に関連する法令、環境法令、製品安全に関連する法令、労働・安全衛生に関連する法令などの遵守
 - 児童労働・強制労働の禁止
 - 人種・性別などによる差別の禁止
 - 安全で清潔な作業環境の実現
 - 贈収賄・不正な行為の禁止 など
2. 地球環境への配慮
3. 健全で安定した事業経営
4. 適正な品質・価格と安定供給
5. 情報の適正な管理・保護
6. 供給継続への協力
7. 紛争鉱物への対応

社会貢献

基本理念「良き企業市民として真に豊かな社会の実現に向けて、考え、行動し、共感を得る社会貢献活動を実践する。」に則り、地域貢献、災害復興支援、社員のボランティア活動支援などを組織的に推進しています。

IT技術を活かし特別支援学校でのキャリア教育を実施

OKIの特例子会社であるOKIワークウェルは、独自開発のテレワークシステムを活用した重度障害者の在宅雇用の経験を学校教育に活かす取り組みとして、特別支援学校などを対象とした「遠隔職場実習」(2004年開始)や「キャリア教育の出前授業」(2011年開始)を実施しています。継続的な取り組みが評価され、2019年1月には、文部科学省・経済産業省主催の第8回キャリア教育推進連携表彰「優秀賞」を受賞しました。

寄付型ボランティア「OKI愛の100円募金」

OKIグループは、OKIおよび活動主旨に賛同する子会社(2019年4月:25社)の役員・社員から毎月100円の募金を集める「OKI愛の100円募金」により、ボランティア団体の支援などを実施しています。その一環として日本赤十字社の血

液事業を支援しており、2019年3月には、通算で29台目となる献血運搬車を佐賀県赤十字血液センターへ寄贈しました。

国内外で環境保全のためのボランティア活動を実施

OKIグループは国内外の各拠点において、環境保全を目的とした社員参加型のボランティア活動を継続的に実施しています。

2018年度の環境保全ボランティア活動

活動場所	活動概要
日本(群馬県高崎市、静岡県伊豆市、長野県小諸市)	里山の除伐・間伐を中心に行う森林ボランティア活動を計5回実施し、延べ223名の社員が参加
タイ(サラブリー県)	社員・家族210名が参加し、伐採跡地に、国指定保護樹木各種の苗木6,000本を植林(9月)
中国(広東省深圳市)	社員50名が参加し、海洋公園にマングローブ3,000本の植林を実施(4月)